

# 精神障害と家族 を考える



精神障害に対する理解は、マスコミや地域をあげての啓蒙活動により改善されてきましたが、一方で、まだ根強い偏見や差別の感情が残されています。

このセミナーでは、精神障害の当事者とその家族が抱える問題について学び、どのようなおたすげができるのかを考えます。

## 講演Ⅰ

### 精神障害当事者の声、家族の思い

講師

大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類准教授

三田 優子 氏

## 講演Ⅱ

### 人が「回復する」とは、どういうことか？

～家族・当事者・精神科医として、皆さんにお伝えしたいこと～

講師

やきつべの径診療所・精神科医

夏苺 郁子 氏

日時 立教178年2月26日(木) 13時～16時30分  
12時30分より受付開始

会場 天理大学ふるさと会館(定員250名)  
※会場の都合により、必ず事前申し込みをお願いします

参加費 無料

## アクセス

### 奈良交通バス

当日は天理駅から本部神殿前を通る奈良交通の市内循環バスが出ています。

(南1降車場で下車後、セミナー会場まで南に徒歩5分)

8:35～16:30の間で10～25分ごとに運行していますので、あわせてご利用下さい。

・運賃(大人)190円

※乗用車でお越しの方は、会場西側に駐車場がございます。



# 精神障害と家族 を考える

## 精神障害当事者の声、家族の思い

講師

三田 優子 氏

精神疾患はわが国の五大疾病のひとつにあげられるほど、誰にでも身近なものになっています。しかしながら、地域社会には、まだ理解や支援が少ないために、さまざまな生きづらさを抱えながら精神障害者やその家族は暮らしています。精神障害があっても自分らしく暮らせるために、何が大切なのか、何を当事者やその家族は願っているのかを彼らの「声」から考える場にしたいと思います。

## 人が「回復する」とは、どういうことか？

講師

～ 家族・当事者・精神科医として、皆さんにお伝えしたいこと～

夏苺 郁子 氏

私は、母親が統合失調症の当事者であり、私自身も医学生の時、自殺未遂を起こして精神科に通院し、大量の精神科の薬を飲んでいた当事者でもあります。

そんな私が、自身の経験を踏まえて「人が回復する」とはどういうことかを、家族・当事者・精神科医の三位一体の立場からお伝えし、皆さまと共に考えたいと思います。

### 申し込み方法

電話・FAX・Eメールにて、住所・氏名・電話番号・年齢・教会名を下記までご連絡ください

※手話通訳、副音声、点字の資料などが必要な方は申し込みの際にご連絡ください

連絡先

福祉セミナー事務局

〒632-8501 天理市三島町 271  
布教部福祉課内

TEL 0743 - 63 - 6161

FAX 0743 - 63 - 7266

E-Mail seminar@tenrikyo.or.jp



申込メールQR

受付期間 11月26日(水)～2月14日(土)

【定員 250 名になり次第、締め切ります】

## 福祉セミナー

精神障害と家族を考える 参加申し込み

※人数が多い場合はコピーしてお使いください。

住所	〒	電話		
ふりがな氏名	男・女	年齢	直属	所属
住所	〒	電話		
ふりがな氏名	男・女	年齢	直属	所属
住所	〒	電話		
ふりがな氏名	男・女	年齢	直属	所属